

令和3年度（2021年度）第1回公立大学法人熊本県立大学経営会議
議 事 録

- 1 日 時：令和3年（2021年）6月23日（水）午後2時～午後3時20分
場 所：公立大学法人熊本県立大学大会議室
出 席：理事長 白石 隆
副理事長（学長）半藤 英明
理事（副学長）堤 裕昭 *オブザーバー
理事（事務局長）平井 宏英
理事 本松 賢
委員 櫻井 一郎
委員 横田 桂子
委員 古荘 文子
委員 江頭 実 ※
監事 河喜多 保典
監事 本田 悟士

※印は、公立大学法人熊本県立大学経営会議運営規程第3条第1項の規定に基づく書面での意思表示による出席者。

事務局：川元次長、三隅教務入試課長、榎原学生支援課長、松永企画調整室長、丸山総務課長、犬塚地域連携政策センター事務長、松本学術情報メディアセンター事務長心得、宮本国際教育交流センター事務長、坂本総務課総務班長、井総務課財務班長、吉田総務課総務班参事、松本企画調整室参事、武末企画調整室参事、松尾総務課財務班参事

2 開会（進行：川元次長）

3 理事長あいさつ

4 議題（議長：白石理事長）

（1）審議事項

①中期計画・年度計画に関する自己点検・評価（案）等について

事務局から、資料1に基づき、中期計画・年度計画に関する自己点検・評価（案）等に係る自己点検・評価について、全50項目中、S～Cの4段階評価でA評価が47項目、B評価が3項目であり、B評価のうち2項目は新型コロナウイルス感染症の影響によるものだが、ほぼ順調に実施できたと総括していることを説明した。

委員より、B評価の項目については新型コロナウイルス感染症の影響による仕方のないものであり、評価しない或いは目標を下げてA評価とするということでもいいのではないかと、との意見が出された。事務局より、そうした検討も行ったが、評価方法としてS～Cのいずれか評価することとなっているため、B評価としたとの説明があった。

また、半藤学長より、自己点検・評価委員会において検討を行った結果、大学の自己点検・評価としてはB評価としたとの説明があった。

審議の結果、案のとおり承認された。なお、カバーレターに今回の3つのB

評価のうち少なくとも2つについては新型コロナウイルス感染症による不可抗力に近いという点の記載を検討することとし、その検討は事務局に一任された。

②令和2年度(2020年度)決算について

事務局から、資料2に基づき、令和2年度(2020年度)決算について、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コスト計算書、利益の処分に関する書類(案)、決算報告書により説明があった。

前年度の総利益より約8千100万円の減となったものの、当期総利益は約3千400万円を確保できた。この利益については、法に基づき、教育研究等環境整備目的積立金として積み立てることとし、県に承認を求めるとの説明があった。

委員より、比較損益計算書の「その他臨時利益」の「落雷被害に係る損害保険金」の保険支払者について質問があり、事務局より、被害対象設備について保険契約している保険会社から支払いを受けているとの回答があった。

続いて、委員より、比較損益計算書の「支払利息」の「資産リースに係る利息支払の増」の理由について質問があり、事務局よりリースの切替えが多数あったことから支払利息が増えたとの回答があった。

続いて、河喜多監事から独立監査人の監査報告書及び監査報告の説明があった。

審議の結果、案のとおり承認された。

③教員採用に係る枠取りについて

半藤学長から、資料3に基づき、次の3件について、いずれも令和4年(2022年)4月1日採用予定として枠取りを行いたいとの説明があった。

ア)文学部日本語日本文学科 日本古代文学 教授または准教授または助教

イ)環境共生学部環境共生学科食健康環境学専攻 食健康環境学 助教または助手

ウ)共通教育センター データサイエンス 教授または准教授

審議の結果、案のとおり承認された。

(2) 報告事項

①令和4年度(2022年度)入学者選抜の実施方針について

事務局から、資料4に基づき、学部入試、大学院入試の方法、募集人員、入試広報の内容、年間スケジュール等について報告があった。

②令和3年度(2021年度)入学者の状況について

事務局から、資料5に基づき、学部入学者の内訳、大学院入学者の内訳について報告があった。

③令和2年度(令和3年3月卒業者)の就職等決定状況について

事務局から、資料6に基づき、就職決定状況や就職率について報告があった。

- ④前回認証評価に係る「改善報告書」の大学基準協会における検討結果について事務局から、資料 7 に基づき、大学基準協会の検討結果の概要について報告があった。
- ⑤熊本県立大学未来基金の平成 2 年度(2020 年度)収支状況について事務局から、資料 8 に基づき、熊本県立大学未来基金の平成 2 年度(2020 年度)収支状況について、収入状況、支出状況の報告があった。
- ⑥JST 共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)への応募について堤副学長から、資料 9 に基づき、緑の流域治水研究室、島谷特別教授を中心に取り組みを進めていく予定との報告があった。

5 その他

- 本学学生等に係る新型コロナウイルスワクチンの職域接種について平井委員から、職域接種の実施に向け、厚生労働省に対しワクチン接種申請を行うとともに、接種を依頼している医療機関等と協議調整を行っているとの報告があった。
- 次回経営会議は、令和 3 年(2021 年)10 月 20 日(水)午後 2 時開始予定であることを確認した。

6 閉会

以上